

【ご取材案内・参加者情報追加】

全国から「こどもまんなか社会」を体現するユース世代、6団体が参加

「ユースのアクションサミット 2025」

～こども・若者との意見交換から
安心して過ごせる社会づくりを目指す～

日時：2025年8月8日（金）13:30～16:30（受付 13:20～）

会場：こども家庭庁 こどもまんなかひろば

（東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビルディング21階）

こどもまんなか応援サポーターの輪の中には、各地域でこどもの居場所づくりや学習支援などの活動をしている中学生～20代のユース世代が数多くいます。その中から全国から集まっていたいただいた6団体（個人）と「こどもまんなか社会と地域のウェルビーイングを考える『ユースのアクションサミット 2025』」を開催します。

当日は、各団体（個人）から活動報告、意見交換の他、こども家庭庁幹部から各団体（個人）への活動へのフィードバックも予定しております。

つきましては、下記のとおり、取材の機会を設けさせていただきましたので、ご多忙中とは存じますが、ぜひご取材くださいますようお願い申し上げます。

■開催概要

開催日時：2025年8月8日（金）13:30～16:30（受付 13:20～）

会場：こども家庭庁「こどもまんなかひろば」
（東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビルディング21階）

参加者：とみやっこプレーパーク（宮城県・富谷市）
虹の鳥（とやま社会的処方プロジェクト）（富山県・富山市）
るりあるく（群馬県・前橋市）
アース・ガーディアンズ・ジャパン（大阪府・豊中市、三重県・菰野町）
NEW STEP 実行委員会（熊本県・菊池市、熊本市）
中学生シンガーソングライター大祈（長野県・軽井沢町）※演奏・歌唱パフォーマンスあり
こども家庭庁 幹部

プログラム：13:30～ 開会・こども家庭庁主催あいさつ

予定 13:35～ 第1部：参加各団体活動報告

14:35～ 記念撮影

休憩 14:45～

15:00～ 第2部：意見交換会「地域における自分たちのチャレンジ」

グラフィックファシリテーションあり

16:20～ 閉会の挨拶

16:30 終了

■ご取材申請について

取材をご希望の方は、下記 URL ・ 二次元 コードからお申込みください。

当日 13:20 までに、こどもまんなかひろばにご参集ください。必ず自社腕章をお着けください。ムービーについては会場の都合により、代表カメラでお願いいたします。

【ご取材可能項目】

- ・ 第 1 部 ・ 第 2 部 各団体報告、意見交換会の内容について
- ・ こども家庭庁 担当者へのご取材

※参加する団体へのご取材は、媒体社様で許可をとっていただいた上でご取材ください

<出席申請フォーム> <https://forms.gle/uGYQgQqSmyUfBVVv9>

申請締め切り：2025 年 8 月 7 日（木）15 時



■「ユース世代のアクションサミット」とは

こども家庭庁は「こどもまんなか社会」の実現に向けて、こども・若者のみなさんの声を聴き、反映し、こどもや若者の視点に立った政策を実現します。2024 年の初開催を経て、今年で 2 回目となる「ユースのアクションサミット 2025」は、その実現への一環として、こどもたちの心身ともに健やかな成長そして安心して過ごせる社会づくりを目的とし、特にウェルビーイング (Well-being) という概念に着目し、意見交換を通じてこどもたちの考えや意見を共有する機会とします。

<昨年の実施内容>

昨年は 6 団体が参加し、「フードロス」や「食×農業ビジネス」、「地域での居場所づくり」などの活動内容を発表。発表後は、ウェルビーイングをテーマにディスカッションを行いました。



■追加情報・当日の参加者について

○とみやっこプレーパーク @宮城県富谷市

2023 年度に始動した「とみやっこプレーパーク」は、コロナ禍で失われたこどもたちの日常と居場所を取り戻すために生まれました。行事やふれあいが奪われた 3 年間を経て、遊びや対話を通じて健やかな育ちを支える場として展開。活動には地域の高校生も関わり、年齢を超えた関係性が自然と育まれています。フードバンクとして食の支援にとどまらず、団体のミッション「誰も取り残されることのない社会」の実現を目指し、現在は週 1 回の開催で年間 2,800 人が利用するプレーパークを運営しています。



[とみやっこプレーパーク\(@tomiyakko.playpark\)・Instagram 写真と動画](#)

○虹の鳥（とやま社会的処方プロジェクト） @富山県富山市

富山大学の小児科訪問サークル「青い鳥」と国際医療研究会「KIK」は、共同で「虹の鳥」と名付けた活動を展開。医療分野を7つのテーマに分け、各自が関心のある領域に取り組みながら、地域や海外、こどもたちとの関わりを通じて実践的な学びを深めています。一例として、こども向けの問診体験を行う「ぬいぐるみ病院」や「子ども食堂」など、地域のこどもとの交流、総合診療では地域住民の声を取り入れる取り組みなどを実施しています。

[虹の鳥\(とやま社会的処方プロジェクト\)\(@toyamaglocal\)・Instagram 写真と動画](#)

○るりあるく @群馬県前橋市

大学生が主体となり、群馬県前橋市で月2回の頻度でこどもの居場所支援活動を実施しています。2024年11月に開始された本活動は、家庭や学校以外の「サードプレイス」として、こどもたちが安心して過ごせる場を提供することを目的としています。こども食堂やフェスの企画・運営のほか、季節ごとの遊びを通じて地域の交流も生まれています。夏休み期間中は週1回の開催となり、宿題補助を行うほか、毎回100名弱が訪れる「おおとね食堂」も実施予定です。



[るりあるく\(@leliarc_syokudo\)・Instagram 写真と動画](#)

○アース・ガーディアンズ・ジャパン @大阪府・三重県菰野町ほか

全国のメンバーと連携し、若者の社会参画をサポートする取り組みを展開。「国際子ども平和賞」を日本人として初受賞した川崎レナさんが代表をつとめ、こども・若者の意見反映をめぐる大人との意識のずれを課題と捉え、当事者である若者によるネットワーク構築を通じた解決を目指して活動しています。各地域の行政と若者の連携支援や意見聴取の実態調査も実施。2024年7月には北海道安平町での現地ヒアリング、三重県菰野町との意見交換も行いました。全国の取組みをまとめたカタログの作成も進めています。



[Earth Guardians Japan\(@earthguardians_japan\)・Instagram 写真と動画](#)

○NEW STEP 実行委員会 @熊本県菊池市・熊本市

高校生が運営と指導を担う、小中学生向けの地域密着型無料学習塾「NEW STEP」では、すべてのこどもたちに学びの機会を提供しています。高校生と小中学生が互いに学び合う「地域の学び場」として、講義だけでなく体験型学習やキャリア教育、ボランティア活動にも取り組んでいます。2025年夏期講習では、平日毎日開講し、自然環境を活用した体験学習も実施



予定。昨年度は 20 本以上の体験プログラムを展開し、高校生が自ら企画・実施しました。講師向けの「こどもまんなかプロジェクト応援リーダー塾 2025」も予定されています。

[高校生が教える地域密着型無料学習塾 NEW STEP\(@newstep.official\)・Instagram 写真と動画](#)

○中学生シンガーソングライター 大祈さん @長野県軽井沢町

自閉症スペクトラムの特性をもつ中学生アーティスト。自身の音楽で、だれかの心の薬や支えになれることを願い活動中。「自分にしかできないこと」に取り組む中で、自作の地元応援ソングを通して町や人と交流を広げている。

当日は、大祈さんによるパフォーマンスも予定しています。

[daiki.and.coco・Instagram 写真と動画](#)

<https://www.youtube.com/@COCO-ij4ze>

